

摂南大学

摂南
土木会

土木会会報

No.32

平成 23 年 10 月 3 日

発行所 摂南大学土木会
〒572-8508 寝屋川市池田中町17-8
摂南大学都市環境工学教室内
TEL.072-839-9117
FAX.072-838-6599

会長挨拶

「土木会の発展のために」

CONTENTS

- 会長挨拶
「土木会の発展のために」
会長 藤田 孝志 (摂大昭和55年卒)
- 摂土会総会報告 平成23年度総会のご案内
- 学部長挨拶
新たな理工学部をめざして
摂南大学理工学部長 森脇 俊道
- 学科長挨拶
都市環境工学科の未来へ向けて
教授 熊野 知司

- 研究室だより
- 合同同窓会報告
- 2011年度の就職状況
- 在学生特集
テーマ「今、打ち込んでいること」
- 卒業生特集
求められる技術と人材



土木会の発展のために

会長 藤田 孝志 (撰大昭和55年卒)

京都府八幡市役所



土木会会員の皆様にはご健勝で、各方面でご活躍のこととお喜び申し上げます。

さて、この度の役員会で、撰南大学土木会の会長再任のご推薦を受けまして、不肖、私が引き受けることとなりました。責任の重大さを痛感して、各方面でご活躍のこととお喜び申し上げます。

私が引き受けることとなりました。責任の重大さを痛感して、各方面でご活躍のこととお喜び申し上げます。会員各位のご支援とご協力をお願い申し上げます。

皆様もご存知の通り、本年の3月11日に東日本大地震が発生いたしました。本会会員にも東日本地域にお住まいの方がおられます。震災に關しての会員情報については、現在のところございません。今後、調査を実施したいと考えております。また、本会会員の関係者にも被災された方がおられるかわかりません。被災されました皆様方にはこの書面をお借

学部長挨拶

新たな理工学部をめざして

撰南大学土木会の会員各位におかれましては、各界において活躍のことと拝察し、お慶び申し上げます。

ご承知のとおり、撰南大学では平成23年に大改革を行い、工学部を理工学部へ改組いたしました。それに伴って、新たに生命科学科、住環境デザイン学科を開設し、マネジメントシステム工学部の学生募集を停止いたしました。また都市環境システム工学部は都市環境工学部として生まれ変わりました。

今回の改革では、組織だけでなく、教育内容の抜本的な見直しを行い、一貫した教育を行うため専門科目の整理統合、教養教育、語学教育の見直しなどを行いました。

りまして心からお見舞いを申し上げます。自然の大きな力に対して、私たち人間は無力です。私たち土木技術者が築いてきましたインフラがごとく破壊されましたが、被災されました方々のためにも早い復興を願うばかりです。

さて、私の会長再任に当たり、今後も土木会の活動の活性化を進めると共に土木会の円滑な運営推進のために精一杯の努力をしたいと思います。会員各位のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。また、今年4月から土木会会員であります撰大平成13年卒の田中賢太郎氏が撰南大学理工学部都市環境工学部の教員になりました。卒業生が教員になられた事は土木会としても心強く思います。本当に頑張っていたきたいと思います。

最後に、本年度は、総会・懇親会を開催する年となっております。本会報にもご案内の記事を掲載させていただいておりますが、11月5日の午後3時から大阪弥生会館で開催いたします。是非とも多くの会員にご参加いただき、交流を深めていただきますようお願いいたします。

当日、皆様に会場でお会いできることを楽しみにしています。



撰南大学理工学部長 森脇 俊道

また生命科学科以外の全学科が順次 J A B E E を受審

特色あるカリキュラムの例としては、新入生全員が受講する基礎理工学実験、今年から始まったバナソニック社との連携によるインターンシップ、来年から開講される科学技術教養などがあります。

特筆すべき事項として、待望の新しい号館の完成が挙げられます。都市環境工学部もほとんどの研究室、実験室が、今年の4月から新1号館に引っ越すとともに、設備も大幅に一新されました。卒業生の皆様には是非一度新しくなった理工学部を足を運んでいただくと思います。

ご案内

平成23年度 撰南大学土木会総会

平成23年度撰南大学土木会総会を下記日程で開催いたします。是非、旧友とのご連絡をお取りいただき、ご参加いただきますようお願い申し上げます。

□と き：平成23年11月5日(土)

○15:00-16:00

特別講演

「東日本大震災の復興に向けて～港湾関係者の目線から～」

東亜建設工業(株) 土木事業本部設計部長

本多 将人 先生

○16:15-16:45

平成23年度総会

○17:00-19:00

懇親パーティー

□ところ：大阪弥生会館

〒530-0012 大阪市北区芝田2丁目4-53

TEL：06-6373-1841 FAX：06-6371-0585

□会 費：3,000円

準会員(学生)向けの講演

10月22日(土)

10:00~11:00(8号館4階842教室)

「東日本大震災の復興に向けて

～コンサル技術者の目線から～」

中央復建コンサルタンツ(株)

保全再生系グループ統括リーダー

新田 耕司 先生

【撰南大学土木会】平成22年度 決算書・平成23年度 予算書

平成22年度決算は表1のとおりであり、監査を経て、平成23年5月の役員会で収支とも相違ないことが認められた。

また、平成23年度予算は表2に示すとおりである。支出の部では、本年度開催される総会の費用が総会費として計上されている。

表1 平成22年度決算

収入の部		
科 目	予 算	決 算
前年度繰越金	334,235	334,235
正会員入会金 83名	415,000	415,000
準会員費 3名	0	15,000
広告料	300,000	340,000
預金利息	2,000	1,321
名簿売上	3,000	2,880
雑収入	0	0
合計金額	1,054,235	1,108,436

表2 平成23年度予算(案)

収入の部		
科 目	予 算	決 算
前年度繰越金	272,207	272,207
正会員入会金 70名	700,000	700,000
広告料	340,000	340,000
預金利息	1,500	1,500
名簿売上	3,000	3,000
合計金額	1,316,707	1,316,707

支出の部		
科 目	予 算	決 算
事務費等	25,000	39,685
名簿追加修正費	25,000	16,000
会報発行費	800,000	649,045
同窓会補助	30,000	60,000
役員会・評議員会費	30,000	1,875
特別講演会	70,000	0
慶弔費・見舞金	70,000	69,624
雑費	1,000	0
予備費	3,235	0
次年度繰越金	0	272,207
合計金額	1,054,235	1,108,436

平成23年3月31日現在 特別積立金440万円

支出の部		
科 目	予 算	決 算
事務費等	40,000	40,000
総会費	360,000	360,000
名簿追加修正費	16,000	16,000
会報発行費	650,000	650,000
同窓会補助	60,000	60,000
役員会・評議員会費	15,000	15,000
特別講演会	100,000	100,000
慶弔費・見舞金	70,000	70,000
雑費	2,000	2,000
予備費	3,707	3,707
合計金額	1,316,707	1,316,707

平成23年4月1日現在 特別積立金440万円

就任のご挨拶

都市環境工学科・講師 田中 賢太郎



本年、4月から都市環境工学科・講師に就任することになりました田中賢太郎です。皆様、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

簡単に自己紹介させていただきますと、私は、平成13年3月に摂南大学を卒業、平成15年3月に摂南大学大学院を修了いたしました。大阪市立大学大学院工学研究科都市系専攻の後期博士課程に入学しました。それから平成18年3月に博士(工学)の学位(論文タイトル:エネルギー吸収型桁連結装置を適用した高架橋の水平2方向地震動下における制震特性に関する研究)を取得し、2年間ほど設計会社で勤務しておりました。そして、関東学院大学に移り工学部・助手を3年間勤めさせていただいておりました。ここで、教育実績と研究業績を積み重ねることができました。摂南大学を卒業してから、それそれは数年の短い期間でしたが、他の大学院、設計会社および教育機関でいろいろな経験を積み重ねることができ、どの経験も大きな財産になっている気がしております。そして、平成23年4月から現職に就かせていただいております。

また、前期しか経っておりませんが、主に鋼構造学、および鋼構造学演習を担当させていただいております。他は、設計製図や学生実験など担当しております。後期からは、構造力学、情報処理やCAD演習、測量実習等も始まります。さらに、田中ゼミ(名称は鋼構造学・橋梁研究室)を構えることもできまして、4名の卒研究生と一緒に研究を行っており、橋梁の耐震について研究しています。教育に関わり思うことは、勉強や研究の目的、直面している問題・現象を理解させる、考えて行動させるなど、教えたことはたくさんあります。そのため、自分自身も努力して成長し続けることが必要です。私は、学生から慕われ頼られる教員になりたいと考えています。そして、私も摂南大学卒業生の教員として、微力ではありますが大学のため、学園のため、そして先輩方や後輩のために尽力させていただきます。今後とも、ご指導ご鞭撻のほどお願ひ申し上げます。

研究室だより



本年、都市環境工学科に着任させていただきます。田中ゼミ(研究室名:鋼構造学・橋梁研究室)を構えることができました。今年度は、4名の卒研究生と一緒に橋梁の耐震について研究しています。私が耐震分野に関わりたくと考えたきっかけは、1995年1月17日に阪神淡路大震災を経験し、テレビの報道を通じて被害状況を目にしたことです。さらに、「就任のご挨拶」で書かせていただいたように、本年3月まで関東学院大学で3年間勤務しておりましたので、東北地方太平洋沖地震も経験しましたので、本研究室では、「防災に強い都市」にするにはどう設計すればよいかということを考えて研究を進めております。

本年度は、研究室ができたばかりで研究テーマは少ないですが、以下のテーマについて研究しております。

1. エネルギー吸収型桁連結装置の開発および変形性能評価
 2. 長継続時間地震動を考慮した既設鋼製橋脚の耐荷性能の検討
- 今後範囲を広げながら、「学生とともにチームとなって」という姿勢で、研究成果を発表し科学技術に貢献できるようにしていきたいと考えております。

ゼミの活動を1つ紹介させていただきます。
「ものづくり」を通じて、卒研究生に良い経験をしてもらおうと考え、ブリッジコンペティション(JSBC2011)に参加します。これは、鋼材を用いて3mの橋梁模型を製作し、①架設競技、②橋模型中央部に300キロの重りを載せ構造(たわみ量)、③美観を競います。本年の参加は、摂南大学を含めて12大学(14チーム)あります。模型製作は、大学のテクノセンター(旧機械工作センター)を使わせていただいております。みんなで製作しています。みんなが良い結果を望み、設計計算や模型製作を頑張っております。

訃報

2011年1月逝去

木南 茂浩様

(摂大昭和60年3月卒/フジ地中情報株勤務)

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



都市環境工学科の未来へ向けて

学科長挨拶

私たちは今全学部をあげて、摂南大学のより一層の発展を目指して頑張っています。今後とも皆様方のご支援、ご鞭撻をお願いする次第です。

熊野 知司

土木学会会員の皆様には平素より本学科の運営にご支援を賜り、感謝申し上げます。

2010年度に理工学部都市環境工学科に改組され1年が経過いたしました。この理工学部の改組を象徴するように2011年3月に新しい1号館が竣工し、学科の教員室・ゼミ室および準備室も長年慣れ親しんだ2号館から新しい1号館の3・4階に移転いたしました。この間、学科では、厳しい経済情勢に加えて少子高齢化による慢性的な受験生の減少という逆境に

対抗し、都市環境工学科の未来に向けた礎とするべく、質の高い技術者を恒常的に輩出する教育課程のさらなるブラッシュアップ、および学科の認知度の向上・志願者の確保を重要な目標として活動してきました。具体的な活動としては、以下の3点に重点的に取り組んでいます。

- (1) JABEE認定・2012年度に予定しているJABEE継続審査の受審に先立って、2011年度中に有識者による外部評価を受けるべく鋭意準備を進めています。卒業生の皆様にも様々な面でご協力をお願いすることもあります。
- (2) 広報活動・オープンキャンパス、摂大祭、建設技術展近畿等の学科ブースの出展などを行っています。特に、2010年12月1日・2日に行われた建設技術展近畿の橋梁模型製作コンテストにエコシビル部のC科学生チームが参加し、審査員特別賞を受賞いたしました。
- (3) 資格取得・学科の推奨資格である技術士1次試験、2級土木・建築施工管理技士、土木学会2級技術者等の受験のサポートを行っています。技術士1次試験に関しては摂南大学技術士会と連携し2011年6月24日に受験対策講座(講師・川野真

裕氏、平成20年卒、(株)修成建設コンサルタント)を実施いたしました。

2011年3月11日に発生した東日本大震災は未曾有の大災害となりました。被害に遭われた方々に心からお見舞い申し上げます。卒業生の皆様の中には被災地の復興にご尽力されている方々も多いと思います。摂南大学では6月25日に「東日本大震災を教訓に、関西で想定される大地震にどう備えるか」と題した地域連携フォーラムを実施いたしました。学科からは、頭井教授が東日本大震災の地震の特徴に関する基調講演を、片桐准教授がライフラインを中心とした現地調査の報告を行い、学内外の方々と活発な討論が行われました。地震防災に関する地域連携活動として発展できればと考えています。今後、被災地の復興事業が本格化するにつれ、さらに土木業界に対する期待も高まるものと考えられます。学科としては、未来に続く国土建設の担い手を輩出すべく真摯に教育に取り組むことが社会への最大の貢献であると確信しています。今後とも、土木学会の皆様の一層のご支援をお願いいたします。

「都市環境システム工学科 建築士プログラム」(一級建築士受験資格)認定条件※1

入学年度	対象者	「建築士プログラム」認定の条件
2002	都市環境システム工学科 卒業生	平成20年度(2008年度)開講の「建築製図」又は平成21年度(2009年度)から開講の「建築設計製図Ⅰ」を科目履修生として単位取得する※2。
2003		平成20年度開講の「建築製図」を単位取得して卒業する。または、卒業後※2に「建築設計製図Ⅰ」(平成21年度から開講)を科目履修して合格する。
2004		
2005		
2006		
2007	現4年	平成21年度から開講の「建築設計製図Ⅰ」を単位取得して卒業する。または、卒業後※2に「建築設計製図Ⅰ」を科目履修して合格する。
2008		

※1:一級建築士受験を目指す「建築士プログラム」認定の条件です。卒業後に、建築に関して2年以上の実務経験を経て一級建築士試験の受験資格が得られます。
二級建築士は、卒業後に1年以上の実務経験を経て受験できます。この場合、「建築士プログラム」認定の必要はありません。また、二級建築士合格後、4年以上の実務経験を経て一級建築士が受験できます。
※2:卒業後に対象科目の単位取得を行った場合、実務経験の起算日は対象科目の単位取得時となります。科目履修の手続きについては理工学部事務室にお問い合わせください。

・科目等履修の申請は、毎年3月までに理工学部事務室(TEL072-839-9117)をお願いします。

同窓会報告

「2号館お別れ会」

12名の澤井ゼミ同窓会

大学院工学研究科博士後期課程創生工学専攻
小川 芳也（撰大14年卒 撰大院16年修了）

去る平成23年2月26日（土）16時から撰南大学2号館1階の水工学実験室で「2号館お別れ会」という名の同窓会を開催いたしました。

平成5年に撰南大学に着任されて以来の卒業生（第1期生～第17期生）、現役生、次の澤井ゼミ生、エコビル部OB、職員OBと約30名の方の参加をいただきました。

澤井ゼミの多くの先輩後輩が学びとして使用してきた「2号館」が平成23年3月末をもって役目を終えるということで、入室ができる間に、思い出深いこの2号館を心に焼き付けてもおくと同窓会を開催いたしました。

当日は、澤井ゼミとして平成13年度より学園内に整備してきたピオトープについて澤井先生、現役生に説明案内してもらったと同時に、2号館まわりを始め学園内の散策を行いました。暗くなつてからは、場所を水工学実験室に移し、卒業研究の紹介を当時の時代背景とともに

撰大合同ミニ同窓会

石橋 源三撰大昭和55年卒

去る平成23年7月16日（土）午後6時から大阪市中央区東心斎橋の韓国酒家、神腑采辛で合同ミニ同窓会を開催いたしました。

昭和55年卒の二期生、三期生だけでなく四期生、八期生との合同ミニ同窓会を開催しました。このミニ同窓会は四年程前から報告会として1年に2回（6月・12月）開催しています。当日は、16名の出席がありました。

遠方からの出席もあり、毎年開催をするようになって、卒業年度が違つても気心が知れている仲間でもありますので、大変盛り上がり楽しい一時を過ごす事ができました。

普通、同窓会の話題は、学生時代の思い出？となるのですが、前回もそうでしたが、卒業してから30年、31年になりますと社会人として、企業等でそれなりの立場にもあり、経営者もいますので、この不景気を如何に乗り切る

にしていたいただきました。開催場所が水工学実験室ということで、卒業研究で使用した水路や実験器具等を前に、澤井先生に叱咤激励をもらいながら仲間と苦勞し取り組んだテーマを思い出してもらえたようでした。また、世代を超えて情報交換ができたようで、これから社会に出ていく学生にとっては、大変によい機会だったようです。

次回はより多くの方の参加をお願いいたします。

最後になりましたが本同窓会の開催にあたり、ご支援をいただきました撰南大学土木会には、この場をお借りしてお礼申し上げます。



か、近づく定年の話が話題となり、年齢を感じさせるものでありました。また、今回は、東北地方の大地震と津波被害について、救援活動等の参加者から報告がありました。

次回は、もっと多くの方の参加を期待しています。

最後に本同窓会の開催に当たり、撰南大学土木会からお祝いいただき有難うございました。この場をお借りしてお礼申し上げます。



2011年度の就職状況

「超・氷河期を迎えて」

都府環境工学科 准教授 瀬良昌憲

景気低迷が続いている最中に、本年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震の影響で製造業に甚大な被害を与え、景気はさらに悪化している。

さて、本年度の就職状況ですが、本学における求人業種別に見ると（2011年7月現在）、建設業では前年度比で求人数で4%増、求人数で10%増であり、昨年までの減少傾向から増加に転じています。製造業の求人数が5%減ですので対照的です。図1は本学の土木技術者に対する業種別求人状況を求人数でまとめたものです。（七月末現在、301件）このグラフを見ると、大阪近郊の市町村を中心に公務員の求人が19%とかなりの割合を占めています。このような状況において学科内では、数年前から伊藤教授を中心に3年生成を対象として公務員試験対策の自主勉強会を実施して実績を上げつつあります。しかし、学生諸君の公務員試験受験に対する意欲に欠ける現状には歯がゆい気持ちです。

本年度の卒業・修了予定者は78名（卒業73名、修了5名）です。進路内定状況は（8月5日現在）学部生32名（44%）、院生4名（80%）であり、全体では78名中36名の46%となつています。昨年度と比べるとかなり悪い状況です。進路内定者の内訳は大学院進学（1名）、公務員（2名）、一般建設業（13名）、道路・鉄道（9名）、コンサルタンツ（2名）、測量系（1名）、環境

系（4名）、建築系（1名）およびその他の業種（3名）です。

内定先未定者41名は全員活動中であり、その内訳は大学院進学（1名）、公務員受験および結果待ち（12名）、土木系（18名）、建築系（3名）およびその他（8名）となつています。

就職担当をしていて気づいた点について述べさせていただきます。多くの学生は就職活動に積極的に取り組んでいるのですが、取り組み方を間違えている学生を多く見受けました。例えば、就職指導時に過去の「企業訪問リスト」（C科の先生方が毎年熱心に取り組んできている企業訪問）を学生に渡して志望企業を決めるように指導しているにもかかわらず、リクナビやマイナビに頼る傾向があります。

最後に、土木会会員の皆様方にお願ひがあります。学生の就職に際して、さらなる御協力いただきますようお願い申し上げます。

最後に、土木会会員の皆様方にお願ひがあります。学生の就職に際して、さらなる御協力いただきますようお願い申し上げます。

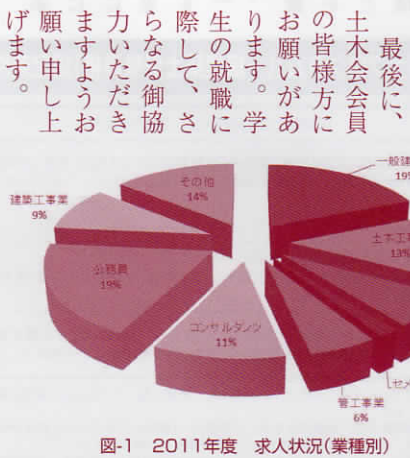


図-1 2011年度 求人状況(業種別)

テーマ「今、打ち込んでいること」

充実した学生生活の中で、私達はこんなことを考えています！

「バスフィッシング」



3年生 福田 丈

私が今、打ち込んでいることは「バスフィッシング」です。これまで私は、趣味を持ったことがありませんでした。クラブ活動に時間を使うことがほとんどだったため、大学入学してから、クラブ活動に打ち込んできたパワーを他に向けて、新しい自分を見つけたいと考えたため、趣味として「バスフィッシング」を始めました。バスフィッシングは、とても繊細で気力のいるスポーツです。朝日が昇るころから日が沈むまで続けても釣れないこともあり、我慢が苦手な私にはとても過酷なことですが、始めてからというもの我慢強くなったと感じています。また、バスフィッシングはたくさんの方がやられていて、さらに色々な年代の人と出会います。そういう人たちが釣り場でコミュニケーションをとらせてもらいます。釣りの話をしたり、世間話をしたりと人との出会いがあり、とてもおもしろいと感じます。ただ釣りをするのはなくたくさんの人と話をし、コミュニケーションをとることで、自分を成長させ学生生活に活かしたいと思っています。

「トランペット」



1年生 板越 小百合

私が今、打ち込んでいることは「クラブ活動」です。私は、吹奏楽部に所属していて、大学から始めたばかりのトランペットを担当しています。吹奏楽は様々な楽器で一つの演奏をするため、早くコツをつかみ上手になって、聞いてくれる方に満足してもらえる演奏ができるように練習に励んでいます。そして、日頃の練習の成果を出す場として、演奏会やコンクールなどがあり、それに向けて練習し、努力することが大事なことです。演奏会やコンクールではきちんと吹ける人しか出場することができません。そのため、部員関係者の前で演奏するオーディションがあり、トランペット初心者の私はまず、オーディションに合格することを目標としています。トランペット初心者が合格することは難しいことなのですが、出場して皆と達成感を分かち合いたいと考え、一生懸命頑張っています。これから、大学4年間で上手に演奏できた時の達成感を味わい、吹奏楽の大変さや楽しさ、伝統などをたくさん学んでいきたいと思っています。

「ゼミ活動」



4年生 林 隆太

私が今、打ち込んでいることは「ゼミ活動」です。私は鋼構造学・橋梁研究室で、研究をしています。今、ゼミ活動では卒業研究をしながら9月に開催の「ブリッジコンテスト」出場に向けて準備をしている最中です。「ブリッジコンテスト」とは、鋼材材料を使い自分たちで橋の設計から加工や組立を行い、景観やコスト、荷重に耐えられるかなどを競う大会です。自分たちのアイデアを活かして、世界に1つの橋梁を造るのはとても楽しいです。実際に鋼材の加工や、解析ソフトで計算通りの結果が得られるかなどを検証しながら橋を造ることができるのは、大学で学んできた専門知識を活かせるとても良い経験の場だと思います。夏休みは、卒業研究はもちろんブリッジコンテストの準備にゼミ一丸で打ち込みゼミ活動を通じて、残り少ない大学生活で沢山のことを経験し、思い出に残る学生生活を送りたいと思っています。

「フィールドワーク」



2年生 田中 宗繁

会報が発行されるのが、10月だとお聞きしたので発行される頃には終わっておりますが、今年の8月6日から7日に京都の日吉町にて天若湖アートプロジェクト「あかりがたなぐ記憶」というイベントがあります。私は、2ヶ月程度費やしてプロジェクト担当のパンフレット作りに携わっています。プロジェクトの目的は日吉ダムが建設されて、天若湖に沈んだ集落を湖面に明かりを灯し、その場所に豊かな生活文化をもった村々があったことや下流の方が使っている水がどのようなところから流れてきているのかを知ってもらうためのものです。私は自分の役割を果たすため、週に1回くらいのペースで5限目が終わってから京都で、他大学の方々と打ち合わせを行っています。期末テストも迫ってきていますが、いつも家に帰るのが夜中12時頃になります。テスト勉強は、帰宅後と空き時間を見つけてしています。パンフレットのことを、考えている内にプロジェクトから天若湖をより感じてほしいと本心で思っているので、打ち合わせがすごく楽しくよい経験になっています。さらに、他大学の学生とも交流ができ、自分の成長に繋がれると考えているので来年も、是非参加したいと思っています。

編集後記



大学院生 陰山 恵子 礼場 大太 原田 尚慶

このページは私たち大学院生が企画し、作成したものです。ここでは、先生方、OBやOGだけでなく学生にも親しい会報誌になるようにと、学生自身の考えや意見を主に掲載しています。現在、本学科には298名の学生が在籍していますが、学科内で魅力的な学生を発掘し、現役学生代表してPRを行い、他の学生やOB、OGの方々に知っていただくという理由で「今、打ち込んでいること」というテーマを選びました。インタビューを通じて、現在の学生の物事への取り組み方に対する熱意が伝わってきたと思います。学生には今、取り組んでいることやこれから経験することから得られるものがあると思いますが、今後の様々なことに活かしていただきたいと思います。最後にこのページの作成においてご協力してくださった先生方、学部生の皆様へこの場をお借りして厚くお礼申し上げます。

求められる技術と人材

土木技術者として

国土交通省近畿地方整備局

道路部道路計画第一課長補佐

今西 秀樹 (撰大昭和61年卒)



私は、昭和61年に卒業し、建設省近畿地方建設局に入省しました。それから25年が経ち、その間に組織が国土交通省に変わり、今また地方整備局のあり方について、特に関西でいろいろ話題になっているところです。

地方整備局の技術系職員に係る仕事には、道路、河川、港湾等に関する事業がありますが、私はこれまでずっと道路事業に関り、その多くを道路計画に携わってきました。

ここ数年、公共事業＝無駄遣い、特に道路に対しては強い批判があったように感じています。道路計画に携わってきた私にとっては、無駄な道路を計画してきたとの非常に厳しい評価であり、正直、子供たちに自分の仕事について教えることが辛い時期もありました。しかし、一方では道路も含め、まだ十分な社会資本整備がなされていないという地方の声が今もなお多くあります。

公共事業に対する批判は、確かに世間の常識では理解しがたいことが業界の常識となっていたところもあり、批判を受けて当然のところもありました。これらの批判を踏まえ、これからも官民が常に意識高く改善していく必要があります。

しかし、公共事業（社会資本整備）そのものは、国民の生命・財産の保護、また国の発展に、必要不可欠のものであり、東日本大震災では改めてその重要性を認識させられたところでもあります。

東北地方太平洋地震では、多くの尊い命が失われ、未だ多くの行方不明者が存在しています。自然の力に対して、人間の力は微力に過ぎませんが、古来より土木技術者は、それらの困難に立ち向かい、人々の営みを支えてきた職業であったと思います。

後輩の皆さん、最近世間では、土木に対してあまり良いイメージがありませんが、人々のために、土木技術者でしかできないことが沢山あります。役所であるのと、民間であるのと技術者として共に頑張ってくださいましょう。

現場に行こう

川崎地質(株)西日本支社

技術部長

市原 浩司 (撰大平成5年卒)



当社において、社員がボーリングマシンのスピンドルを握る者は誰一人としていない。すなわち、飯の種となるコアは、協力業者の力量まかせとなる。このような現状（他社も同様と思う）の中で、いわゆる元請けと云われる当社の存在意義はあるのか？また、発注形態も劇的に変貌している昨今、地質調査業務にも設計コンサルが参入し、席巻させている現状もまた、地質調査会社の位置づけをあいまいにしている。このような背景の中、社内を見渡すと、社員の大半は社内におり、現場に行く機会が減っている。これは受注金額が減っていることも原因の一つだが、確かに現場が疎遠になっている。

地質調査業界には、脳で汗をかくことよりも、身体で汗をかくことのほうが得意な方が多かったはずである。しかし現状はパソコンで柱状図人力やCADでお絵描きをすることが地質調査のビジネスモデルとなっている。現場にはいかず前記のようなことが常態化され、「地質調査型現場主義」が消散していった。現場マンたち（先輩）の地道なテクニクが要請されていた体系が、90年代の失われた10年のように完全に壊れ、現場技術が社内から消滅していった。

では、この先現場技術だけでめしが食えるのか。あるいは、取れるかどうか判らないプロポ型業務だけめしが食えるのか。答えはいずれもノーと考える。利幅がかせげるコンサル型業務体系を追い求めるのではなく、ガテン系社員と脳汗社員とがコラボレーションできる『旧来の地質調査業のビジネスモデル+α』に戻す必要がある。そのためには、地質調査業の底力である『高度な現場管理能力』を次代の技術者に確実に継承していく必要がある。また、実務に深く係る問題解決型人材の育成も急務であろう。

私はこれまでの経験を生かし、差別化できるコア部門としてのハード部門を再生・再整備していきたいと考えている。

土木技術者に期待すること

(株)水コ名古屋支所

下水道部技術第3課

稲井 義明 (撰大平成6年卒)



(はじめに)
東日本大震災において被災された皆様へ心よりお見舞い申し上げます。同時に、被災地の日も早い復興をお祈り申し上げます。

私は、平成6年に摂南大学を卒業した後、数年間の大学院生活を経て、現在の勤務先である、建設コンサルタントに入社しました。

入社以来、下水道の計画・設計技術者として、下水道行政に関する諸問題の解決に、コンサルタントの立場で、携わってきました。

東日本大震災の復興に関しましては、下水道の早期復旧・復興のために、微力ながら、お手伝いをさせて頂いております。

(下水道計画策定に必要な能力)

下水道施設は、単に汚水処理しているだけではなく、都市浸水の防除（雨水対策の実施）、水環境・生態系の保全、エネルギー回収等の様々な機能を有しています。このため、下水道計画の策定にあたっては、地域にとって下水道施設はどうあるべきか？汚水処理や浸水対策、環境保全対策は、どこまで行うべきか？と言ったことを検討する必要があります。このような検討を行うためには、下水道に関する知識や技術力が必要不可欠なことはもちろんですが、それ以上に、①相手の話を聞き、困っていることの原因を解説する能力と、②相手自らが対応策を選択するための適切な情報の提示ができる能力が必要となります。

(土木技術者に期待すること)
①②の能力は、経験を積んだ土木技術者等であれば、誰もが有する能力であると思われがちです。しかし、このような視点で物事を見る機会が少ない事務職等に携わってきた方には、なかなか身に付きにくい能力であるように感じます。

地域活動町内会・ボランティア活動等)においては、①②の能力を有した人材が少なく、意見調整に苦勞する場合があるように感じます。

土木技術者等が積極的に地域活動に入り込み、能力を発揮すれば、今まで以上に、地域や社会が良くなるのでは？と、思っています。

公共施設総合サービス業



苅田建設工業株式会社

代表取締役 苅田 孝太郎

ISO9001 本社 〒660-0087
ISO14001 尼崎市平左衛門町18番31号
TEL (06)6419-2981(代表)
ホームページ: <http://karitakenetsu.com>
三田営業所 三田市天神1丁目2-12
TEL (079)563-0095

KAIKEN-街づくりの総合コンサルタント
大規模開発(住宅団地・工業団地) /
土地区画整理事業/建築設計/
環境アセスメント

株式会社 開発計画研究所

業者登録
・建設コンサルタント 登録番号・建(19)第4364号
・一級建築士事務所 登録番号・茨城県第A0994号
・測量業 登録番号・第5-15601号
・補償コンサルタント 登録番号・補18第2949号

代表取締役 **井上 忍**
(昭和44年3月卒業)

事務所: 東京・水戸
TEL 03-5828-6855

株式会社 日照技術コンサルタント

建設コンサルタント(測量・設計・調査)

得意分野 ・基準点測量(世界座標系による)
・境界確定測量(民々境界、官民境界等)
・各種管理用平面図作成

代表取締役 **市原 久照** (高専52年卒)
〒611-0041 京都府宇治市横島町月夜3の2
TEL: 0774-22-7137 FAX: 0774-22-4966
E-mail: nissho@cup.ocn.ne.jp

cosmotecosmotecosmotecosmotecosmotecosmotecosmo

地質調査、各種防災点検
土壌地下水汚染調査、地盤保証
各種構造物健全度調査 等

土に関することならなんでも!!

株式会社 コスモテック

代表取締役 **田中 昌明** (48年卒)

本社 〒577-0833 大阪府東大阪市柏田東町11-15
TEL: 06-6729-0290 FAX: 06-6729-1780

奈良営業所 〒635-0833 奈良県北葛城郡広陵町馬見南1-3-18
TEL・FAX: 0745-55-4443

E-mail: cosmotec@pop06.odn.ne.jp
URL: <http://www2.odn.ne.jp/cosmotec>

cosmotecosmotecosmotecosmotecosmotecosmotecosmo



総合建設コンサルタント
設計・測量・調査・登記・計測

ISO 9001:2008 株式会社 **エハラ**
登録番号 MSA-QS-3315

代表取締役 **江原 光治**
(高専C47年卒)

本社 大阪府東大阪市永和2丁目13番9号
〒577-0809 TEL 06(6730)1500(代) FAX 06(6730)1300
E-mail: ehara@ehara21.co.jp
営業所 大阪・神戸・奈良



明日の快適な環境づくりに貢献する
総合建設コンサルタント

Active [活動的] Speedy [敏速] Customer [顧客本位] Onward [前進]



株式会社 アスコ

本社 〒550-0006 大阪市西区江之子島1丁目10番1号
TEL 06-6444-1121 FAX 06-6444-1021
奈良支社 〒634-0813 奈良県橿原市四条町279-1
TEL 0744-21-0041 FAX 0744-21-0031
神戸支社 〒657-0841 神戸市灘区灘南通5-4-15
TEL 078-871-5611 FAX 078-871-5541
和歌山支店 〒640-8044 和歌山市板屋町22
TEL 073-433-7751 FAX 073-433-7702
名古屋支店 〒460-0002 名古屋市中区丸の内1-14-24
TEL 052-219-6351 FAX 052-201-8071
東京支店 〒142-0042 東京都品川区豊島5-11-12
TEL 03-5749-3274 FAX 03-5749-3275

[営業所] 東大阪・奈良・香芝・五條・豊岡・姫路・京都北・京都市南・岐阜・各務原・滋賀・京都・三重・名張・紀南・高松・徳島・久留米・静岡・神奈川・福井



中央復建コンサルタンツ株式会社

わたしたちは未来の社会基盤づくりに貢献しています

本社 〒533-0033 大阪市東淀川区東中島4-11-10
TEL 06-6160-1121(代表) FAX 06-6160-1127
東京本社 〒102-0083 東京都千代田区麹町2-10-13
TEL 03-3511-2001(代表) FAX 03-3511-2031



ベステック株式会社

未来のために今できることを、
ひとりひとりの技術と信頼のネットワークで社会に貢献します

■宅地造成設計、土地区画整理設計、道路設計、
公園設計、下水道設計など、土木設計業務全般

大阪市中央区天満橋京町1-24 ストーク児島ビル
TEL 06-6945-5781 FAX 06-6945-5782

代表取締役 **木下 幸佐** (摂大57年卒)

環境にやさしい水を創造する 総合コンサルタント

上水道・下水道の調査・計画・設計・施工管理



株式会社 都市建設コンサルタント

代表取締役 津田 勉 (高専43年度卒)

本社 〒551-0003 大阪市大正区千島1丁目14番13号
TEL (06) 6555-1661 (代) FAX (06) 6555-1441

営業所 神戸・岡山・大分

OCC



建設コンサルタント・補償コンサルタント・情報測量・情報管理

大島技術コンサルタント株式会社

本社 岡山県真庭市藤山上福田829-1
〒717-0602 ひるぜん TEL 0867-66-3673(代)
FAX 0867-66-3674
URL: <http://www.ogcflight.co.jp>

東日本大震災により亡くなられた方々に謹んで哀悼の意を表するとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

国際航業グループだからできること 「復興への貢献」



空間情報コンサルティング技術を活かした
トータルソリューションにより、一日も早い
復興に向けて全力を尽くします。

大阪支店

〒542-0081 大阪市中央区南船場3-4-26 (出光ナガホリビル)
TEL: 06-4963-5931 FAX: 06-4963-5930

関西事業所 / 西日本事業本部

〒660-0805 兵庫県尼崎市西長洲町1-1-15
TEL: 06-6487-1111 FAX: 06-6487-1300



国際航業株式会社

<http://www.kk-grp.jp/>

快適な
国土をデザインする



株式会社 修成建設コンサルタント

代表取締役社長 八尾 博彦

本社 / 〒530-0055 大阪市北区野崎町7番8号梅田パークビル8階
TEL 06-6367-3800 (代案) FAX 06-6367-3805
事務所 / 兵庫・福岡・京都・奈良・福井・奈良
和歌山・名古屋・岡山

ISO 9001 登録番号 JMGA-143

<卒業生>

吉澤慶文 (高専土木50年卒)
徳久仁三 (高専土木54年卒)
小島昭光 (旧大14年卒)
藤原基孝 (旧大17年卒)
川野直樹 (専士課程120年卒)

HC 21世紀をグローバルに拓く 株式会社 花村コンサルタント

業者登録

- ・ 建設コンサルタント業 第8662号
- ・ 地質調査業 第1760号
- ・ 測量業 第14744号
- ・ 土壌汚染指定調査機関 環2003-2-30

代表取締役 花村 浩司 (高専C昭和47年卒)

本社 〒611-0042 京都府宇治市小倉町南浦9-8
TEL (0774) 21-5067 FAX (0774) 21-5068
大阪事務所 〒542-0012 大阪市中央区谷町7-3-4 新谷町第三314
TEL (06) 6764-7438 FAX (06) 6764-7439

大阪市内より30分圏内の
緑豊かなお墓地をご案内いたします。
お墓のことならどんな事でもお気軽におたずね下さい。
お墓の相談コーナー ☎0120 (305075)

(株) 太田石材店



本社 大阪市城東区古市1丁目23番20号
TEL 06-6930-5075

当社推奨霊園

- | | |
|---------------|-------------------|
| 総持寺霊園 (茨木市) | 服部徳風墓地 (豊中市) |
| 陰国寺墓地 (吹田市) | 竜の子霊園 (奈良県) |
| 海印寺墓地 (長岡京市) | 玉手山墓園 (柏原市) |
| 王寺霊園 (奈良県) | 飯盛メモリアルパーク (四條畷市) |
| 東本願寺天満別院 (北区) | 飯盛霊園 (四條畷市) |
| 北摂霊園 (豊能郡) | その他公営墓地 |
| 真龍寺霊園 (茨木市) | |

地球の未来は人の未来。

鳥のさえずり、木々のざわめき、青い空と輝く海。
ほら、地球はこんなにも美しい。
これからも大切にしたいから、
僕らができること、
少しずつはじめなくちゃ。



Yes! Harmony



東亜建設工業

〒163-1031 東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー <http://www.toa-const.co.jp/>

「土木会」と「会員(正・準)」との双方向の情報交換ならびに共有に、摂南大学土木会のホームページを活用しましょう

<http://www.geocities.jp/setsudokai/>

摂南大学土木会は都市環境工学科のJABEE受審を全面的に支援しています